

平成15年 1月 7日
校 長 決 裁

教員の教育研究業績等のデータベース化について

本校では、平成14年度から教員の選考基準を明確化した。これは、教員の教育研究業績等を定量化し、人事の公平、公正化を目的としたものである。

しかしながら、平成14年度中は、本校で指定した様式はなかったため、内外の採用、昇任応募者が各自で作成した様式により選考を行った。様式に統一性がないことは、教育研究業績等の評価を複雑にし、定量化作業にかなりの時間を要することとなった。こうした中で、本校での統一されたフォーマットの必要性が感じられるようになった。

このような状況を受け、運営委員会の中に設けられた教員の教育評価に関するワーキンググループで検討した結果、別紙の様式を作成したものである。

このフォーマットは、只単に教員選考時にのみ使用するのではなく、平成14年度からはじめた国立高等専門学校教員顕彰に関連する教員の教育業績等評価、5年毎の専攻科教育の実施状況等の審査、平成15年度に行うJABEE申請等、各種申請、評価にも対応できることを目指している。すなわち、共通するデータを入力し、データベース化して、教員の負担軽減及び事務処理の簡略化、迅速化を図るものである。

また、これは、一定期間毎に各教員が、自己の研究教育業績、学校運営、社会貢献等の各データを追加入力していくことにより、自己点検にもおおいに役立つものとする。

本校は、前述のとおり、平成15年度にはまずJABEE申請を控えている。そのためにもこのフォーマットにより各教員の教育研究業績等をデータベース化することにしたい。よって、まず平成15年1月にフォーマット作成の目的、趣旨を本校の教官に十分に周知するとともに、ホームページ等に掲載することにより学内外に公開し、平成15年4月から教員の選考、各種申請、評価等にこのフォーマットを使用することとしたい。